

2023年度事業報告書および決算書

(2023年4月1日から2024年3月31日)

■会 員 (2024年3月31日現在)

正会員（個人）483名（フリーランス 376名、インハウス45名、団体・学校 62名）

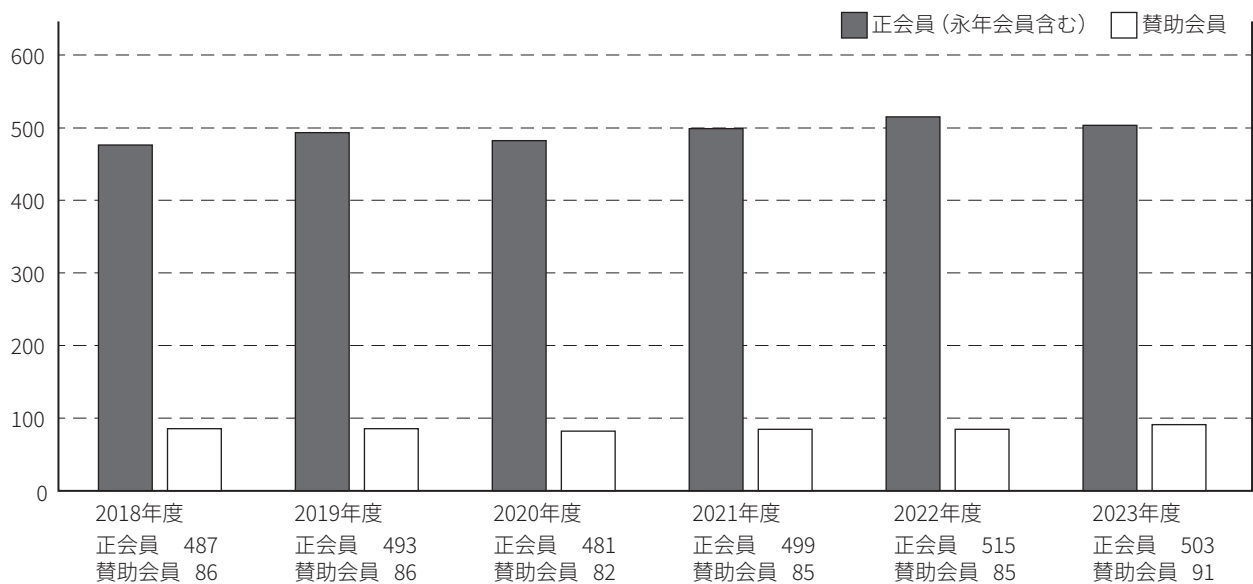
〔昨年度からの推移：新永年会員 8名、入会 15名、退会 28名、死亡 3名〕

正会員（法人・団体）20社（入会 4社）

賛助会員（団体）69社 152口

賛助会員（個人）22（入会 6名） 学生会員 9名

会員数の推移



■会 議

1. 定時総会

2023年6月16日(金) 午後3時15分～4時30分、東京ミッドタウン・カンファレンスルームにおいて第55回定時総会を開き、下記議案を決議した。

第1号議案：2022年度事業報告および決算書（案）の件

第2号議案：2023-24年度役員選任（案）の件

第3号議案：役員規程改定（案）の件

報告：2023年度事業計画および予算書

2. ブロック総会

2023年度ブロック総会は、下記の会場において開かれた。

東日本ブロック：2023年6月16日 会場 東京ミッドタウン・カンファレンスルーム

中 部ブロック：2023年6月24日 会場 なごのキャンパス

北 陸ブロック：2023年7月 2日 会場 オンライン開催

関 西ブロック：2023年6月24日 会場 ブライTONベル

西日本ブロック：2023年6月24日 会場 メール総会

3. 理事会

以下の件について議決、検討、審議、報告を行った。

第1回理事会（2023年4月29日 JIDA ギャラリー）

職務執行報告（理事長報告、職務執行理事報告）、入会審査と承認、総会議案についての承認、組織改定・委員会統廃合の承認、利益相反取引の承認、DM セレクション vol.25 特別審査員・審査員の承認、役員規程改定案の検討、2023-2024 年度役員選挙結果報告、事業報告案・決算報告と分析、インハウス活動報告、事務局諸報告

第2回みなし理事会（2023年5月12日～17日 メール）

第55回定時総会議案決議

第3回理事会（2023年6月16日 東京ミッドタウン・カンファレンスルーム）

2023-24 理事長選定に関する承認、入会審査と承認、2023 年度組織と役員構成の承認、事務局諸報告

第4回理事会（2023年9月24日 JIDA ギャラリー）

職務執行報告（理事長報告、業務執行理事報告）、入会審査と承認、特別顧問規則改訂の承認、御園氏特別顧問委嘱の承認、社会課題研究委員会受託事業の実施承認、地域事業23年度予算配分の承認、団体交流委員会受託事業の承認、JIDA 80 周年記念事業特別資金積立金の検討、役員行事日程と開催場所の検討、23 年度の目標、ミュージアム委員会事業報告、調査研究事業報告、プロフェッション委員会からの質問・要望書、次年度 ISDW 報告、ADA ミーティングと 70 周年事業収支報告、広報委員会事業報告、地域事業報告、研修・企業交流委員会セミナー部会報告、8 月末決算報告、事務局諸報告

第5回理事会（2023年11月25日 JIDA ギャラリー）

職務執行報告（理事長報告、職務執行理事報告）、入会審査と承認、JIDA 80 周年記念イベント特別積立金の承認、JIDA デザインスクール開設の検討、ブロック・次年度事業計画&予算案作成指針の検討、ミュージアム規程改定の検討、賀詞交歓会開催の検討、広報事業報告、セミナー他事業報告、ミュージアム事業報告、調査研究事業報告、立替精算・イベント収支報告、24 年度事業・予算計画の作成依頼、中間監査報告、各ブロック報告、ISDW 進捗報告、インハウス部会報告、交流事業報告、事務局諸報告

第6回理事会（2024年2月11日 JIDA ギャラリー）

職務執行報告（理事長報告、職務執行理事報告）、入会審査と承認、社会課題研究委員会受託事業実施の承認、2024 年度事業計画&予算案の検討、ミュージアム事業報告、広報事業報告、資格検定委員会事業報告、地域事業ブロック活動報告、セミナー他事業報告、事務局諸報告

第7回理事会（2024年3月16日 オンライン）

職務執行報告（理事長報告、職務執行理事報告）、入会審査と承認、2024 年度事業計画&予算の承認、資金調達及び設備投資見込みの承認、総会開催の承認、2024 年度理事会日程案の検討、事業内容変更届の検討、ミュージアム事業報告、社会課題研究委員会受託事業実施報告、デザインスクール進捗報告、広報事業報告、2024 年度永年会員報告、事務局諸報告

理事会出欠状況

出席回数（出席数・欠席数）

・第1回、第2回理事会（旧役員）

理事：太刀川英輔（2・0） 御園秀一（2・0） 蘆澤雄亮（2・0） 小幡真也（2・0） 古賀康隆（1・1）
佐藤敏明（2・0） 芝操枝（2・0） 谷村秀（2・0） 松本有（2・0） 稲垣陽平（2・0）
監事：長谷高史（2・0）

・第3回～第7回理事会（新役員）

理事：太刀川英輔（5・0） 後藤規文（5・0） 小幡真也（5・0） 蘆澤雄亮（5・0） 松本有（5・0）
石川義宗（3・2） 田崎咲絵（4・1） 村田智明（5・0） 中原俊三郎（5・0） 小野健太（4・1）
赤澤智津子（5・0）
監事：伊奈史朗（5・0） 内野雅子（5・0）

■事業報告

1. 2023 年度活動概要

理事長：太刀川 英輔

2023 年度は長かったコロナ禍がようやく明け、様々な事業が元の状態に戻った年となった。JIDA の事業も、オンラインの良さは継続しながらリアルを併用する新しい活動の在り方が定着してきた。前年度は 70 周年記念事業での盛り上がりを受けて、コロナ前の事業規模を 3 割も上回る活動実績となったが、23 年度はコロナ前の例年規模をやや上回る結果となった。そのような決算の中で伸びた事業としては資格付与の検定事業があげられる。コロナや周年記念に影響されにくい事業ではあるが、前年度比を 40% も上回る実績となり、長年にわたる地道な努力の成果が表れてきた。次年度は検定の名称を JIDA デザイン検定とリブランディングするため、さらなる発展を期待する。

また当年度は交流事業の中で二つの特筆すべきイベントを行なった。一つは、我々とも関係が深い世界デザイン機構（WDO）が 2 年に 1 回開催する世界デザイン会議（WDA）で、これが 23 年 10 月に東京にて開催された。日本開催は 34 年ぶりとなり、WDO 設立メンバーである JIDA は JDP など他のメンバー団体と協力して東京開催を成功に導いた。もう一つは日本デザイン団体協議会を D8 から DOO へとリブランディングし、日本デザインサミットを幹事団体として主導したことが挙げられる。初の 7 団体共催によるデザインサミットを六本木ミッドタウンで開催し、多くの関係者が集結した。

（1）資格付与事業 ‹国民から信頼される職能の確立›

インダストリアルデザイン関連の人材育成のため知識の一定化を目指し、知識レベルを第三者からも評価されるよう検定を実施し、資格を付与する事業を 2010 年から行なっている。検定事業と関連出版事業の相乗効果を基本に運営している。

本年度は、委員会組織の大幅な交代があったが、検定事業、出版事業ともに、滞りなく運営することができた。受験者数、関連出版物販売数についても、昨年度と比較し特に受験者数は大幅に増加しており、引き続き受験者数増加に努めていきたい。また 2024 年度に計画している JIDA デザイン検定への名称変更、またそれに伴う検定のリニューアルについては、準備もほぼ整い 2024 年 5 月中旬に新検定に移行する予定である。

1）検定事業

前年度の受験者数が 179 人（1 級 76 人、2 級 103 人）に対して、2023 年度は 299 人（1 級 129 人、2 級 170 人）であり、堅調に増加しており、新検定移行後もこの流れを止めることなく、増加に努めていきたい。また 2023 年度は検定の名称変更、およびそれに伴う検定のリニューアルのため、制度の見直し、問題の見直し、ホームページの改編を行い、ようやく年度末までに準備も整って 2024 年 5 月中旬に新検定への移行を迎えられる予定となった。

2）関連出版事業

JIDA 編さん書籍、問題集、講義教材については、昨年度とほぼ変わりなく販売できた。JIDA 編さん書籍については、次の増刷時に向けて、検定の名称変更、リニューアルに伴う変更すべき箇所洗い出しを行なった。

（２）セミナー他事業 《専門的知見の充実による社会貢献の推進》

セミナー他事業は、インダストリアルデザインの普及啓発と人材育成のために重要な事業と位置づけ、下記以外にも各委員会やブロックが企画・運営するセミナーを各地で行なう。23 年度は、計画書に記載した新たな 2 種のワークショップ形式セミナーを、東京で 2 回、京都で 1 回開催し参加動員 72 名となった。受託セミナーとしては、中国美的集団の若手デザイナーに対する日本からの著名デザイナーによるセミナーと、中部職業能力開発促進センターでの職業教育授業への講師派遣を行なった。全体としては年間各地で各種セミナーを約 30 本開催し、延べ 1,000 人ほどの参加者を動員できた。

（３）体験活動事業 《次世代人材の育成による国家基盤の充実》

デザイン系の学生や社会人または小学生までも対象とし、プロのデザイナーが体験的に教えたり一緒にワークショップを行なうなどの体験活動は、人材育成と交流に大きな役割を果たしている。以下以外にも、各地で開催される企業訪問や工場見学会なども含まれる。

１）国際デザインワークショップ (ISDW)

学生の国際的視野を広げるために、韓国インダストリアルデザイン協会 (kaid)、台湾工業デザイン協会 (CIDA) と共同で国際学生デザインワークショップを毎年開催している。23 年度は台湾 CIDA が主催となり、台湾北部の Keelung にて開催された。

２）Next EcoDesign ワークショップ

正会員のプロデザイナーが学生を指導しながらデザインワークショップを行ない、「未来をつくるデザイン」として 2023 年も様々なエコデザインに取り組んだ。20 年目となる展示を東京ビッグサイト「エコプロ 2023」内で開催した。

３）その他ワークショップ等

子どもの頃からモノづくりの体験をすることで創造性を養い、将来のデザイナーを育む目的で行なう子どもデザインワークショップは恒例となり、23 年度も 2 日間開催された。

（４）ミュージアム事業 《デザインを通じた日本文化の高度化》

ミュージアム事業には大きく 2 つのセグメントがあり、デザインの優れた製品を選定、顕彰し、図録を作成・無償頒布するセレクション事業とそれら優れた製品を収蔵・管理し、展示することでデザインの啓発に繋げるミュージアム事業からなる。セレクション事業の「JIDA デザインミュージアムセレクション」は、25 年間継続している協会の代表的事業であり、2023 年度も変わることなく実施した。その他にも各種開催される展示会も本事業に含まれる。

１）デザインミュージアムセレクション Vol.25

25 回目となるデザインミュージアムセレクション Vol.25 を実施した。219 点の推薦品の中から審査委員による選定審査と特別審査委員によるゴールドセレクションの審査を行い、合計 60 点（ゴールドセレクション 4 点含む）を選定した。例年通り、AXIS ギャラリーでの展覧会、選定証授与式、デザインフォーラム、図録発行を実施した。図録は 2300 部印刷し、国内外の関係団体、教育機関、図書館、美術館等に無料配布した。また、ウェブサイト「JIDA デザインミュージアム」をリニューアルした。これにより、セレクションのアーカイブとしての機能性を高めた。

2) デザインミュージアム活動

セレクションで選定された製品の中から寄贈を受けたものをストックヤードに収蔵、管理、展示する活動。2023 年度は 26 点の寄贈を受けた。六本木の JIDA デザインミュージアム in AXIS では所蔵している選定品の常設展示を 6 ヶ月毎に入れ替えて 2 回、通年を通して実施した。セレクション Vol.25 の巡回展も実施した。また、収蔵庫移転、常設展示施設設置に向けて候補地の施設を視察した。その際、自治体職員および市長に面会し、JIDA の概要やミュージアム事業について紹介した。

3) その他展示会等

4 月に東京ビッグサイトで開催された医療機器の総合展示会「Medtec Japan 2023」において、今回で 3 回目となるデザインコーナーを運営した。今年で 20 年目となる「Next Eco Design 展」は、今回も東京ビッグサイト「エコプロ 2023」内で開催した。

(5) 調査・研究及びその普及事業 <専門性の深化及び客観化>

調査・研究事業には、民間では提供できないデザインツールを使い易い形に開発し普及させる事業と、デザイナーや関連産業に関わる人たちに役立つ専門情報を提供する事業、更に社会問題を解決する目的の調査・研究を行う事業と、知的財産に関する調査・研究事業などがある。

専門情報を提供する事業では、年間計 5 回の勉強会を開催し 229 人もの受講者に参加いただいた。サンプル事業では、複数商材の在庫切れに伴う増刷に労力と費用を多く費やした。社会問題を解決する目的の研究事業では、共同研究で得た知見を活用し、さまざまな問題に取り組むプロジェクトを立ち上げて社会実装へと繋げた。知的財産に関する調査・研究事業では、「契約と報酬ガイドライン」などの Web での利用を想定した具体的な運用の検討を始めるなど、23 年度は全体的に活発な活動が行なわれた。

1) JIDA STANDARD SAMPLES と KIDS DESIGN TOOLS の頒布

2023 年度の頒布実績は全 46 冊と昨年度に比べ半分ぐらいの実績に終わった。前年度は、新刊の木のサンプル帳『JIDA STANDARD SAMPLES 6 〈WOOD〉』の発刊があった特別の年であり、通年レベルに戻った状況と推察される。KIDS DESIGN TOOLS は、低調な状態が続いているので、告知に力を入れる必要がある。

2) 安全に関する調査研究事業

「傷害予防のためのデータ活用に関する検討委員会」として、最近の事故の事例や分析の報告をもとに事故予防に関する共同研究会を、例年通り隔月で 6 回実施した。

椅子からの立ち座り時、身体を保持する手に加わる荷重を計測する実験テーブルの制作では、テーブルやイスの肘掛等を想定した各種手がかりを台座に設置し、それら取手にかかる荷重を三次元で計測するセンサーを各所に取り付けたテーブル状の実験装置の研究と設計を行なった。

傷害予防教育のための保育施設 3D モデルの研究では、産業技術総合研究所人工知能研究センターが重点課題として、安全な環境インタラクションを支援する「保護者向けの傷害予防教育ツール」のソフト開発に取り組んでおり、その基盤フレームとなる保育施設の 3D モデルの制作を委員会のメンバーが担当した。

民間企業からの受託研究としてスタートした遊具の改良研究では、子どもが屋内で使用する遊具の安全基準を満たす製品開発が研究テーマとなっている。この研究は 24 年度も継続し社会実装を目指す。

3) 知財や契約と報酬に関する研究事業

日本弁理士会との共同研究会では知的財産関連の情報交換や法改正などの勉強会が行われた。

東京都中小企業振興公社の「デザイン活用ガイド」は、前年度に引き続き受託し、監修作業を実施した。「契約と報酬ガイドライン」は web サイトにて販売を目指して内容を精査する。web サイトに公開中の契約書について、入力に応じて自動的に契約書を生成するシステムの雛形を作成した。

（６）内外関係機関との交流及び協力事業 《社会貢献及びデザイン価値の拡充発展》

国内外の関係団体との交流を通して、インダストリアルデザインが社会ひいては人間生活そのものに役立つという共通のテーマを、より一層深化させていく活動を行なっている。

日本のデザインやデザイナーに対するリスペクトを背景に、海外デザイン団体や企業から研修などの実施や日本産業の展示会実施の要請がきている。パンデミックの影響もほぼなくなり海外に関するイベントを中心に継続事業やサポート案件に加え、中国、韓国などとの新たな連携関係も生まれる可能性も出てきており、協会として引き続き海外へのネットワーク拡大、日本のデザイナーの海外進出に向けた支援などを推進していく。国内においても電子情報技術産業協会（JEITA）などの下部組織にデザイン組織がある団体との連携模索など、交流に注力していく年となった。

１）国内関係機関との交流や協力

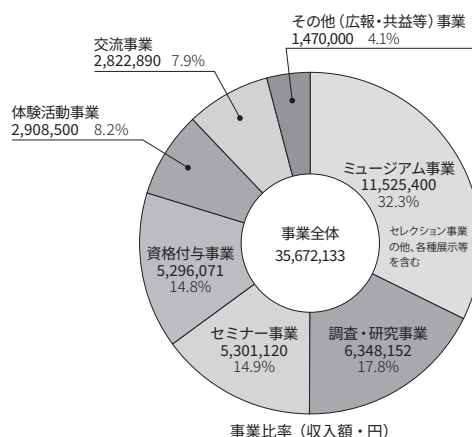
日本デザイン団体協議会（DOO）のメンバーとして年６回の定期会合に、理事長以下数名の役員が毎回出席した。また、６月１６日には初めて DOO の合同イベントを東京ミッドタウンで開催した。

経済産業省との連携では、2024 年 3 月 27 日に米スタンフォード大学から 15 名ほどの学生がデザイン政策室を訪問するに当たり、太刀川理事長が日本のデザインの歴史と強み等についてレクチャーした。

東京都では、台東区、足立区、荒川区、葛飾区の４区に所在する中小企業にデザイン支援を行なう TASK 事業を 23 年度も実施した。その他、中部ブロックではデザイン系大学の卒業制作展訪問と表彰、関西ブロックでは学生デザイン賞、北陸ブロックでは卒業制作展見学会を行なった。

２）海外関係機関との交流や協力

WDO 世界デザイン機構との連携では、2023 年 10 月に東京で開催された WDA2023 の運営に参画した。イベント全体の実行計画を推進するための企画、運営、広報部会に対して協会からの人的支援を多数展開し成功に導いた。日本（JIDA）、韓国（kaid）、台湾（CIDA）の３カ国デザイン団体で構成する ADA（Asia Design Assembly）代表者会議が 8 月に行なわれ、太刀川理事長、小幡副理事長と御園特別顧問が出席した。年度後半は 24 年度の事業に向けた複数回のオンライン会議を開催した。CJIDC（中日工業設計中心）との連携事業では、蘇州市政府の委託を受けた中日工業設計中心との関係構築の可能性を検討。



（７）共益事業 《会員扶助及び会員支援》

１）DP ホットライン

主にフリーランスデザイナーを対象にした会員向け知財相談窓口「DP ホットライン」を通年開設し、会員からの知財相談に対応している。2023 年度も意匠登録の申請に関する相談や、知財に関するトラブル等が寄せられ、専門家が真摯に対応した。

２）会報誌

毎年一度、外部向け年間活動報告書として「アニュアルレポート」を編集・印刷し、広く一般に配布している。2023 年度も 2022 年度のレポートを 8 月に 800 部印刷、内外の関係各所や全ての会員に配布した。

３）その他

公式サイトは引き続き改良を重ねており、2023 年度はコンテンツの充実を図るため、特に基本情報の開示部分、ミュージアム事業、検定事業、調査研究事業などの事業内容を充実させた。さらにセミナー等の参加申し込み、参加費の決済方法、参加者管理を Peatix に一元化し、効率化を図った。全会員の約 6 割を擁する東日本ブロックでは、「東日本ブロックニュース」と称するメールマガジンを毎月ブロック会員に配信する活動を始めた。

2023 年度実施事業一覧

事業	開催日・期間	タイトル	場 所・納入先	主催	参加者人数
資格付与事業	通年	プロダクトデザイン検定の実施	全国各地	デザイン検定委員会	299名
	通年	プロダクトデザイン検定の教材頒布	サイトにてDL頒布	デザイン検定委員会	267点
セミナー事業	4月10日	欧州デザインNOW2023	AXIS Gallery	インハウス部会	42名
	5月19日	第101回素材加工勉強会ー塗料の最前線1ー	JIDAギャラリー	素材加工研究委員会	71名
	6月2日	第101回素材加工勉強会ー塗料の最前線2ー	JIDAギャラリー	素材加工研究委員会	49名
	7月7日	第101回素材加工勉強会ー塗料の最前線3ー	JIDAギャラリー	素材加工研究委員会	53名
	7月21日	第101回素材加工勉強会ー塗料の最前線4ー	JIDAギャラリー	素材加工研究委員会	42名
	6月24日	中部ブロック特別企画セミナー	なごのキャンパス	中部ブロック	25名
	6月24日	「デザインとビジネス」プロデザイナーに向けて	ブライトンベル（心齋橋）	関西ブロック	25名
	6月30日	意匠法、商標法、不競法に関する改正法案	オンライン	プロフェッション委員会	ー
	9月29日	JIDA中部ブロック主催特別企画 対談セミナー	名古屋造形大学	中部ブロック	10名
	10月10日	インハウスデザイナーの社内外での役割と領域の超え方 ～DXDキャンブに学ぶ新時代のデザイナー～	コクヨ THE CAMPUS	インハウス部会	47名
	10月27日	第4回デザイナースキル研究会デザイン座談会	テクノFRONT森ヶ崎	東日本ブロック	13名
	10月30日	JIDA DESIGN CROSSTALK 2023「Designing beyond Mobility- モビリティデザイン、その先へ」	AXIS Gallery	インハウス部会	約70名
	11月10日	日本を変える！地方発のデザイン活用術	（株）GK京都	中部・北陸・関西合同	31名
	11月18日	【東京開催】デザインに活用できるAIセミナー 「プロンプトソン」について	AWS（Amazon）	セミナー部会	29名
	12月2日	【京都開催】デザインに活用できるAIセミナー 「プロンプトソン」について	京都市立芸術大学	セミナー部会	31名
	12月11日	伊藤邦久氏 手描きスケッチワークショップ2023	AXIS Gallery	インハウス部会	約50名
	12月26日	美的セミナー2023ー1回目	中国広州仏山市美的空調事業部	団体交流委員会	75名
	12月28日	JIDA中部ブロック主催デザイナー交流サロン 「Beyondサロン」2023年12月定例会開催のお知らせ	国際デザインセンター	中部ブロック	5名
	1月15日	落合宏理氏「ファッションの常識を超えて」	AXIS Gallery	東日本ブロック	87名
	1月19日	第1回デザイナービジネス英会話勉強会	大阪デザインセンター	関西ブロック	4名
	1月26日	第2回デザイナービジネス英会話勉強会	大阪デザインセンター	関西ブロック	4名
	2月14日	デザイン事業所の経営課題を考えるセッション	（株）パッファロー東京支店	セミナー部会	21名
	2月22日	【医・エ・デザイン連携研究部会】設立記念セミナー	（株）セントラルユニ	プロフェッション委員会	27名
	3月1日	JIDA中部ブロック特別企画セミナー	アンフォーレ1F多目的室	中部ブロック	7名
	3月7日	美的セミナー2023ー2回目	中国広州仏山市美的空調事業部	団体交流委員会	90名
	3月11日	JIDAインハウス女性デザイナー研究会 36期 活動報告会	富士フィルムBI 横浜	インハウス部会	36名
	3月16日	JIDA関西 デザイン教育フォーラム	創造社デザイン専門学校	関西ブロック	9名
	3月22日	第102回素材加工勉強会ーめっきで何が解決できるかー	JIDAギャラリー	素材加工研究委員会	14名
	3月23日	JIDA中部ブロック トークセッション&試乗会 in 名古屋芸術大学	名古屋芸術大学	中部ブロック	9名
	3月27日	知財セミナー懇談会 生成AIの周辺	大阪デザインセンター	関西ブロック	20名
体験活動事業	8月20日～26日	International Student Design Workshop	台湾北部 Keelung	ISDW部会	約70名
	9月4日	JIDA Student Selection2023 発表会	FabCafe Nagoya	中部ブロック	20名
	8月8日・12日	子どもワークショップ	東京ミッドタウンデザインハブ	東日本ブロック	50名
	8月22～24日	Eco Design Workshop	虎ノ門Too.ギャラリー	東日本ブロック	11校34名
ミュージアム事業	通年	DMセクションVol.25 事業運営	JIDA ギャラリー	ミュージアム委員会	ー
	通年	Vol.24 常設展	JIDA ギャラリー	ミュージアム委員会	ー
	4月17日～4月19日	MEDTEC japan 2023	東京ビッグサイト	プロフェッション委員会	14,500名
	5月30日～6月22日	Vol.24 巡回展	信州新町美術館	ミュージアム委員会	635名
	12月6日～8日	Next Eco Design 展2023	東京ビッグサイト	東日本ブロック	66,826名
	1月19日～24日	DMセクションVol.25展	AXIS Gallery	ミュージアム委員会	320名
	1月23日	DMセクションVol.25 選定証授与式	AXIS Gallery	ミュージアム委員会	約80名
	3月16日	学生デザインコンペ 表彰式&教育フォーラム	創造社デザイン専門学校	関西ブロック	59点

調査・研究事業	通年（隔月）	安全に関する共同研究会	JIDA ギャラリー	社会課題研究委員会	延べ約90名
	通年	JIDA STANDARD SAMPLES の頒布	サイトにて頒布	素材加工研究委員会	68冊
	通年	KIDS DESIGN TOOLS の頒布	サイトにて頒布	素材加工研究委員会	11セット
	12月～2月	身体保持荷重計測テーブルの制作	東京工業大学	社会課題研究委員会	5名
	11月～3月	傷害予防教育用の保育施設3Dモデル制作	産業技術総合研究所	社会課題研究委員会	5名
	2023年度後半	子ども用屋内遊具の安全性研究	オオニシ体育（株）	社会課題研究委員会	6名
	5/10、9/22、12/22	日本弁理士会意匠部会との共同研究会	弁理士会館	プロフェッション委員会	—
	年5回	DOOデザイン保護研究会	オンライン	プロフェッション委員会	—
交流事業	6月16日	DOO JAPAN DESIGN SUMMIT	東京ミッドタウン	団体交流委員会	250名
	10月27日～29日	WDO 世界デザイン会議東京2023	千葉大・六本木ヒルズ	団体交流委員会	—
	8月25日	ADA 代表者会議	台湾北部 Keelung	団体交流委員会	21名
	11月16～18日	CIDA デザインWeekにて理事長がプレゼン	蘇州青苔国際工業デザイン村	団体交流委員会	—
	1月15日	【JIDA New Years Party】2024賀詞交歓会	AXIS Gallery	東日本ブロック	87名
	1月20日～2月25日	中部卒業制作展訪問2023	7大学巡回	中部ブロック	延べ約40名
	7月20・21日	JAPAN SHOP 大阪 2023 USD-Oの出展に協力	インテックス大阪	関西ブロック	12,000名
	11月11日	「新しい循環型社会へ向けてのデザイン」 USD-Oのデザインシンポジウムに協力	ATC IHPC特設会場	関西ブロック	—
	2024/1/9～19日	USD-Oの「チャリティー絵馬展」に協力	大阪デザインセンター	関西ブロック	—
	7月～2月	TASK事業（東京都中小企業への協力事業）	各所	東日本ブロック	5社×2名
	11月18日・19日	茨城県行方市プロジェクト「なめがた秋祭り」	茨城県行方市	東日本ブロック	—
	9月14日	Coppa Centro Giappone+JIDA西日本交流会	ひろしま美術研究所	西日本ブロック	7名
	2/4、2/18、2/25	北陸3大学 卒業制作展見学	福井工大・富山大・金美	北陸ブロック	28名
共益事業	通年	DPホットライン（知財に関する電話相談）	事務局	プロフェッション委員会	—
	8月	JIDA ANNUAL REPORT 2022-23（報告書）	事務局	広報委員会	800部
	毎月1回	東日本ブロックニュース（メールマガジン）	メール配信	東日本ブロック	東日本B会員
	6月3日	東日本ブロックデー2023	AXIS Gallery	東日本ブロック	28名
	9月2日	デザイン講談 in 蓼科	蓼科	中部ブロック	7名
	1月20日	デザイン講談	魚屋の台所 下の一色	中部ブロック	10名

■ 対外事項

ダイヤモンド社取材来局	(芝理事)	(4月)
石橋財団表敬訪問	(金井事務局長)	(4月)
塩ビ工業会来局	(金井事務局長)	(4月)
ADA-ISDW 会議 (ZOOM)	(御園副理事長、井上委員長)	(4月)
CJIDC 来局	(御園副理事長、金井事務局長)	(5月)
DOO 事務局連絡会 (ZOOM)	(金井事務局長)	(5月)
DOO 運営会議	(太刀川理事長、御園副理事長、蘆澤副理事長、谷口委員長、金井事務局長)	(5月)
DOO イベント実行委員会会議 (ZOOM)	(金井事務局長)	(5月)
美的集団会議 (ZOOM)	(御園副理事長、井上委員長、折田事務局員)	(6月)
ADA ISDW 参加者事前説明会 (ZOOM)	(井上委員長、折田事務局員)	(6月)
愛知県半田中学校来局	(金井事務局長)	(6月)
出版文化社来局	(金井事務局長)	(6月)
東京都中小企業振興公社来局	(金井事務局長)	(6月)
台湾銘伝大学学生来局	(金井事務局長)	(6月)
宮城県北角田中中学校来局	(金井事務局長)	(6月)
フレーベル館来局	(金井事務局長)	(6月)
JEITA 来局	(小幡副理事長、金井事務局長)	(7月)
日経デザイン来局	(谷村委員)	(7月)
DOO 運営会議	(太刀川理事長、小幡副理事長、御園委員、谷口委員長、金井事務局長)	(7月)
ADA-ISDW 会議	(小幡副理事長、井上委員長、御園委員、折田事務局員)	(7月)
茨城県行方市麻生中学校来局	(金井事務局長)	(9月)
中国 CIDA 来局	(小幡副理事長、金井事務局長、折田事務局員)	(9月)
岐阜県大垣市西中学校来局	(金井事務局長)	(9月)
中国 SIDA 来局	(太刀川理事長、御園委員長、金井事務局長、折田事務局員)	(10月)
香港デザイナー団体来局	(太刀川理事長、金井事務局長)	(10月)
中国深圳文化局来局 (11月)	(太刀川理事長、小幡副理事長、金井事務局長、折田事務局員)	(11月)
三菱 UFJ 財団面談 (ZOOM)	(赤澤理事、ロビン委員長、金井事務局長)	(1月)
IDSA 会議 (ZOOM)	(太刀川理事長、井上委員長、御園委員)	(1月)
苏泊尔工业设计センター来局	(井上委員長、御園委員、金井事務局長、折田事務局員)	(3月)
ADA-ISDW 会議 (ZOOM)	(太刀川理事長、小幡副理事長、赤澤理事、井上委員長、ロビン委員長、御園委員、青木委員、金井事務局長、折田事務局員)	(3月)
Design Singapore Council 来局 (対面・ZOOM)	(太刀川理事長、御園委員、金井事務局長、折田事務局員)	(3月)

【協賛・後援・協力】

・「Japan Home &Building Show 2023」、(一社) 日本能率協会	協賛
・「第 57 回日本サインデザイン賞」、(公社) 日本サインデザイン協会	後援
・「第 25 回福岡デザインアワード」、福岡県産業デザイン協議会	後援
・「PVC Award 2023」、PVC Award 実行委員会	後援
・「第 2 回日本パッケージデザイン学生賞」、(公社) 日本パッケージデザイン協会	後援
・「2024/25AWJAFCA カラートレンドセミナー」、(一社) 日本流行色協会	後援
・「第 29 回全国高等学校デザイン選手権大会」、東北芸術工科大学	後援
・「富山デザインウェーブ 2023」、デザインウェーブ開催委員会	後援
・「JAPAN SHOP 2024」、(株) 日本経済新聞社	協賛
・「第 2 回日本パッケージデザイン学生賞」、(公社) 日本パッケージデザイン協会	後援
・「2024/25AWJAFCA カラートレンドセミナー」、(一社) 日本流行色協会	後援
・「第 29 回全国高等学校デザイン選手権大会」、東北芸術工科大学	後援
・「富山デザインウェーブ 2023」、デザインウェーブ開催委員会	後援
・「ムナーリのタイル展」、日本ブルーノ・ムナーリ協会	後援
・「第 9 回レイルウェイ・デザイナーズ・イブニング 2023」、産経新聞社	後援
・「オートカラーアワード 2023」、(一社) 日本流行色協会	後援
・「ジャパンツバメインダストリアルデザインコンクール 2024」、新潟県燕市物産見本市協会	後援
・「WDO 世界デザイン会議東京 2023」、WDO 世界デザイン会議東京 2023 実行委員会	後援
・「第 33 回公募 2024 日本ジュエリー展」、(公社) 日本ジュエリーデザイナー協会	後援
・「Designinspire In Motion」、香港貿易発展局	後援
・「往 来 correspondence」、ユネスコデザイン都市推進委員会	後援
・「第 97 回インターナショナルギフトショー春 2024」、(株) ビジネスガイド社	協賛
・「次世代を担うデザイン展 2023」、(公社) インテリアデザイナー協会	後援
・「ライティングオブジェ 2023」、ライティングオブジェ制作委員会	協力

2023 年度事業報告の付属明細書（事業報告を補足すべき重要な事項）に記載すべき事項はありません。

I 貸借対照表

2024年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,640,202	14,374,906	△ 7,734,704
未収会費	1,092,000	781,000	311,000
未収金	4,300,866	2,170,952	2,129,914
前払金	92,400	26,000	66,400
商品	1,236,109	1,412,558	△ 176,449
原材料	8,480,585	4,502,274	3,978,311
貯蔵品	938,884	1,016,228	△ 77,344
流動資産合計	22,781,046	24,283,918	△ 1,502,872
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
JIDA基金	8,502,408	8,502,238	170
基本財産合計	8,502,408	8,502,238	170
(2) 特定資産			
周年事業積立預金	2,500,000	0	2,500,000
退職金積立預金	36,000	0	36,000
特定資産合計	2,536,000	0	2,536,000
(3) その他固定資産			
設備造作	217,464	254,511	△ 37,047
什器備品	254,633	59,056	195,577
ミュージアム収蔵品	350,717	350,658	59
電話加入権	100,500	100,500	0
保証金	6,489,000	6,489,000	0
その他固定資産合計	7,412,314	7,253,725	158,589
固定資産合計	18,450,722	15,755,963	2,694,759
資産合計	41,231,768	40,039,881	1,191,887
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,921,387	8,155,210	△ 233,823
前受金	968,000	1,694,000	△ 726,000
前受会費	1,938,000	1,618,000	320,000
預り金	139,476	237,125	△ 97,649
仮受金	43,670	0	43,670
未払消費税等	278,600	251,600	27,000
流動負債合計	11,289,133	11,955,935	△ 666,802
2. 固定負債			
退職給付引当金	36,000	0	36,000
固定負債合計	36,000	0	36,000
負債合計	11,325,133	11,955,935	△ 630,802
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	29,906,635	28,083,946	1,822,689
(うち基本財産への充当額)	(8,502,408)	(8,502,238)	(170)
(うち特定資産への充当額)	(2,500,000)	(0)	(2,500,000)
正味財産合計	29,906,635	28,083,946	1,822,689
負債及び正味財産合計	41,231,768	40,039,881	1,191,887

Ⅱ 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	713,000	721,000	△ 8,000
受取入会金	713,000	721,000	△ 8,000
受取会費	24,929,200	24,795,000	134,200
個人正会員受取会費	14,913,000	15,372,000	△ 459,000
法人・団体賛助会員受取会費	7,633,400	7,400,000	233,400
個人賛助会員受取会費	366,000	306,000	60,000
法人・団体正会員受取会費	2,016,800	1,717,000	299,800
事業収益	30,981,133	41,301,382	△ 10,320,249
書籍頒布収益	3,468,363	5,907,877	△ 2,439,514
検定登録収益・問題使用収益	3,815,600	2,770,500	1,045,100
展示・セミナー会費収益	10,027,300	10,136,500	△ 109,200
受託事業による収益	10,293,850	15,150,955	△ 4,857,105
その他の活動収益	3,376,020	7,095,550	△ 3,719,530
委員会収入	0	240,000	△ 240,000
受取補助金等	4,566,000	4,342,000	224,000
受取地方公共団体補助金	266,000	42,000	224,000
受取民間助成金	4,300,000	4,300,000	0
受取寄付金	125,000	1,962,000	△ 1,837,000
受取寄付金	125,000	1,962,000	△ 1,837,000
雑収益	51,035	261,317	△ 210,282
受取利息	247	325	△ 78
雑収益	50,788	260,992	△ 210,204
経常収益計	61,365,368	73,382,699	△ 12,017,331
(2) 経常費用			
事業費	54,031,207	69,118,770	△ 15,087,563
期首棚卸高	6,931,060	5,953,733	977,327
期末棚卸高	△ 10,655,578	△ 6,931,060	△ 3,724,518
給料手当	10,520,846	10,267,260	253,586
雑給	3,469,277	3,132,175	337,102
退職給付費用	30,600	0	30,600
法定福利費	1,433,806	1,604,333	△ 170,527
旅費交通費	3,814,657	2,353,193	1,461,464
通信運搬費	955,399	1,302,221	△ 346,822
会議費	846,745	985,481	△ 138,736
減価償却費	82,267	74,769	7,498
什器・備品購入費	439,321	25,854	413,467
印刷製本費	2,683,100	4,511,784	△ 1,828,684
出展料・参加費	3,197,935	3,944,820	△ 746,885
材料費	7,478,880	9,835,969	△ 2,357,089
水道光熱費	1,974,068	2,099,309	△ 125,241
賃借料	5,672,621	5,313,721	358,900
団体諸会費	600,000	583,000	17,000
諸謝金	6,917,956	10,500,882	△ 3,582,926
租税公課	586,752	676,131	△ 89,379
事務用品費	368,398	524,790	△ 156,392
委託費	5,237,107	9,433,513	△ 4,196,406
懇親会費	538,321	758,390	△ 220,069
雑費	907,669	1,326,582	△ 418,913
委員会振替	0	240,000	△ 240,000
式典運営費	0	601,920	△ 601,920
管理費	4,940,531	5,921,277	△ 980,746
給料手当	1,856,620	1,811,869	44,751
雑給	288,496	770,019	△ 481,523
退職給付費用	5,400	0	5,400
法定福利費	253,024	283,118	△ 30,094
福利厚生費	10,564	14,338	△ 3,774
旅費交通費	471,474	290,844	180,630
通信運搬費	94,490	128,791	△ 34,301
減価償却費	23,203	21,089	2,114
什器・備品購入費	83,679	4,924	78,755
印刷製本費	111,796	187,991	△ 76,195
水道光熱費	321,360	341,748	△ 20,388
賃借料	1,001,051	937,715	63,336
諸謝金	88,597	110,643	△ 22,046
租税公課	3,748	4,319	△ 571
事務用品費	59,972	85,431	△ 25,459
委託費	106,880	192,521	△ 85,641
雑費	160,177	234,102	△ 73,925
式典運営費	0	501,815	△ 501,815
経常費用計	58,971,738	75,040,047	△ 16,068,309
評価損益等調整前当期経常増減額	2,393,630	△ 1,657,348	4,050,978
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,393,630	△ 1,657,348	4,050,978
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
収蔵品受贈益	59	17	42
経常外収益計	59	17	42
(2) 経常外費用			
未収会費取立不能分	571,000	315,000	256,000
経常外費用計	571,000	315,000	256,000
当期経常外増減額	△ 570,941	△ 314,983	△ 255,958
当期一般正味財産増減額	1,822,689	△ 1,972,331	3,795,020
一般正味財産期首残高	28,083,946	30,056,277	△ 1,972,331
一般正味財産期末残高	29,906,635	28,083,946	1,822,689
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	29,906,635	28,083,946	1,822,689

Ⅲ 正味財産増減計算書内訳表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	その他の事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入金	356,500	242,420	114,080	713,000
受取入金会金	356,500	242,420	114,080	713,000
受取会費	12,464,600	7,551,960	4,912,640	24,929,200
個人正会員受取会費	7,456,500	4,473,900	2,982,600	14,913,000
法人・団体賛助会員受取会費	3,816,700	2,290,020	1,526,680	7,633,400
個人賛助会員受取会費	183,000	183,000	0	366,000
法人・団体正会員受取会費	1,008,400	605,040	403,360	2,016,800
事業収益	30,471,633	509,500	0	30,981,133
書籍頒布収益	3,468,363	0	0	3,468,363
検定登録収益・問題使用収益	3,815,600	0	0	3,815,600
展示・セミナー会費収益	10,012,300	15,000	0	10,027,300
受託事業による収益	10,293,850	0	0	10,293,850
その他の活動収益	2,881,520	494,500	0	3,376,020
受取補助金等	4,566,000	0	0	4,566,000
受取地方公共団体補助金	266,000	0	0	266,000
受取民間助成金	4,300,000	0	0	4,300,000
受取寄付金	125,000	0	0	125,000
受取寄付金	125,000	0	0	125,000
雑収益	51,035	0	0	51,035
受取利息	247	0	0	247
雑収益	50,788	0	0	50,788
経常収益計	48,034,768	8,303,880	5,026,720	61,365,368
(2) 経常費用				
事業費	49,389,925	4,641,282	0	54,031,207
期首棚卸高	6,931,060	0	0	6,931,060
期末棚卸高	△ 10,655,578	0	0	△ 10,655,578
給料手当	9,406,874	1,113,972	0	10,520,846
雑給	3,464,277	5,000	0	3,469,277
退職給付費用	27,360	3,240	0	30,600
法定福利費	1,281,991	151,815	0	1,433,806
旅費交通費	3,428,905	385,752	0	3,814,657
通信運搬費	808,415	146,984	0	955,399
会議費	448,775	397,970	0	846,745
減価償却費	69,083	13,184	0	82,267
什器・備品購入費	439,321	0	0	439,321
印刷製本費	2,235,917	447,183	0	2,683,100
出展料・参加費	3,197,935	0	0	3,197,935
材料費	7,478,880	0	0	7,478,880
水道光熱費	1,790,434	183,634	0	1,974,068
賃借料	5,138,727	533,894	0	5,672,621
団体諸会費	456,000	144,000	0	600,000
諸謝金	6,917,956	0	0	6,917,956
租税公課	581,059	5,693	0	586,752
事務用品費	304,143	64,255	0	368,398
委託費	4,649,269	587,838	0	5,237,107
懇親会費	177,559	360,762	0	538,321
雑費	811,563	96,106	0	907,669
管理費	0	0	4,940,531	4,940,531
給料手当	0	0	1,856,620	1,856,620
雑給	0	0	288,496	288,496
退職給付費用	0	0	5,400	5,400
法定福利費	0	0	253,024	253,024
福利厚生費	0	0	10,564	10,564
旅費交通費	0	0	471,474	471,474
通信運搬費	0	0	94,490	94,490
減価償却費	0	0	23,203	23,203
什器・備品購入費	0	0	83,679	83,679
印刷製本費	0	0	111,796	111,796
水道光熱費	0	0	321,360	321,360
賃借料	0	0	1,001,051	1,001,051
諸謝金	0	0	88,597	88,597
租税公課	0	0	3,748	3,748
事務用品費	0	0	59,972	59,972
委託費	0	0	106,880	106,880
雑費	0	0	160,177	160,177
経常費用計	49,389,925	4,641,282	4,940,531	58,971,738
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,355,157	3,662,598	86,189	2,393,630
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,355,157	3,662,598	86,189	2,393,630
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
収蔵品受贈益	59	0	0	59
経常外収益計	59	0	0	59
(2) 経常外費用				
未収会費取立不能分	571,000	0	0	571,000
経常外費用計	571,000	0	0	571,000
当期経常外増減額	△ 570,941	0	0	△ 570,941
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,926,098	3,662,598	86,189	1,822,689
他会計振替額	1,619,104	△ 1,619,104	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 306,994	2,043,494	86,189	1,822,689
一般正味財産期首残高	△ 13,916,952	17,744,306	24,256,592	28,083,946
一般正味財産期末残高	△ 14,223,946	19,787,800	24,342,781	29,906,635
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 14,223,946	19,787,800	24,342,781	29,906,635

IV 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

市場価額のあるものは、時価法を採用している。

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

その他のものは原価法を採用している。

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

材料及び貯蔵品は最終仕入原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法

設備造作については、旧定額法及び定額法を採用している。

什器備品については、旧定額法及び定額法を採用している。

(4)引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
JIDA基金	8,502,238	170	0	8,502,408
小 計	8,502,238	170	0	8,502,408
特定資産				
周年事業積立預金	0	2,500,000	0	2,500,000
退職金積立預金	0	36,000	0	36,000
小 計	0	2,536,000	0	2,536,000
合 計	8,502,238	2,536,170	0	11,038,408

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
JIDA基金	8,502,408	(0)	(8,502,408)	(—)
小 計	8,502,408	(0)	(8,502,408)	(—)
特定資産				
周年事業積立預金	2,500,000	(0)	(2,500,000)	(—)
退職金積立預金	36,000	(—)	(—)	(36,000)
小 計	2,536,000	(0)	(2,500,000)	(36,000)
合 計	11,038,408	(0)	(11,002,408)	(36,000)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
設備造作	1,565,475	1,348,011	217,464
什器備品	7,695,109	7,440,476	254,633
合 計	9,260,584	8,788,487	472,097

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
ふるさと納税制度 団体応援補助金	港区	0	266,000	266,000	0	-
助成金						
寄附助成金	(公財)石橋財団	0	4,300,000	4,300,000	0	-
合 計		0	4,566,000	4,566,000	0	

7. 関連当事者との取引の内容

開示すべき取引は該当なし。

8. 引当金の内訳

今期は該当なし。

9. その他

(資産除去債務に関する注記)

当法人は事務所に係る不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復義務を有している。
しかし、当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、かつ、将来移転等の予定もないことから、
資産除去債務を合理的に見積もることができない。
そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

V 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

注記に同内容が記載のため省略。

2. 引当金の明細

注記に同内容が記載のため省略。

VI 財産目録 2024年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
【流動資産】				
	現金	手許保管	運転資金	623,431
	預金	普通預金 みずほ銀行六本木支店他	運転資金	2,419,134
		郵便振替 六本木駅前支店	運転資金	3,597,637
	未収会費	令和5年度会費	公益目的事業及び法人の管理運営に係る会費の未収分	1,092,000
	未収金	令和5年度事業収入	公益目的事業に係る未収分	4,300,866
	前払金	令和6年度事業費用	公益目的事業に係る前払金	92,400
	商品	サンプル帳1〜6	公益目的事業の頒布品在庫	1,236,109
	原材料	サンプル帳仕掛品	公益目的事業の頒布品仕掛品在庫	8,480,585
	貯蔵品	書籍	公益目的事業の在庫	938,884
流動資産合計				22,781,046
【固定資産】				
(基本財産)				
	JIDA基金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の寄附を基本財産として管理	8,502,408
基本財産合計				8,502,408
(特定資産)				
	周年事業積立預金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の積立金であり特定費用準備資金として管理	2,500,000
	退職金積立預金	定期預金 みずほ銀行六本木支店	公益目的事業の特定資産として管理	36,000
特定資産合計				2,536,000
(その他固定資産)				
	設備造作	キヤラー照明設備	公益目的事業及び管理運営に使用	217,464
	什器備品	パソコン、机等	公益目的事業及び管理運営に使用	254,633
	ミュージアム収蔵品	ミュージ蔵収蔵品	公益目的事業及び管理運営に使用	350,717
	電話加入権	5回線	公益目的事業及び管理運営に使用	100,500
	保証金	事務局分	公益目的事業及び管理運営に使用	6,489,000
その他固定資産合計				7,412,314
固定資産合計				18,450,722
資産合計				41,231,768
【流動負債】				
	未払金	令和5年度事業費	公益目的事業及び管理運営に伴う未払い金	7,921,387
	前受金	令和6年度事業費	公益目的事業及び管理運営に係る前受金	968,000
	前受会費	令和6年度会費	公益目的事業及び管理運営に係る年会費収入	1,938,000
	預り金	源泉所得税	公益目的事業及び管理運営に係る預かり金等	139,476
	仮受金	PD検定書籍返金額	公益目的事業に係る仮受金	43,670
	未払消費税等	令和5年度消費税	公益目的事業及び管理運営に伴う消費税	278,600
流動負債合計				11,289,133
【固定負債】				
	退職給付引当金		退職金の支払いに備えている	36,000
固定負債合計				36,000
負債合計				11,325,133
正味財産				29,906,635

監査報告書

公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会

理事長 太刀川英輔 殿

2024年5月10日

公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会

監事

伊奈史朗 

監事

内野 雅子 

私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの第56会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関連書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書、事業報告の附属明細書は事実であると認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。